

## OCTAVE V80

並のアンプでは中々鳴らないスピーカーB&W 802D、Kharma 3.2.2、PIEGA TC70Xを悠々と余裕で鳴らし、一方では個性溢れるスピーカー群、PIEGA TC10X、Sonus Faber Guarneri memento、デンマークのDAVONEなどを、音楽性豊かにドライブする。

TANNOY ヨークやJBL 4338など何十年も鳴らされ続けたスピーカーでさえ、V80を繋いだ途端目を見張る進化を遂げ、「こんなに鳴ったのは初めてだ」と、お客様を喜ばせました。

スピーカーの未だ知られざる可能性をいとも簡単に引き出してしまふ。それが、この「V80」というプリメインアンプのなせる業なのです。

OCTAVEの創設兼設計者であるアンドレアス氏の全てのノウハウが盛り込まれた、まるで氏の分身、子供のようなアンプ。

バイアス調整が可能のため、真空管の取替えも

いたって簡単。EL34やKT88、6550などそれぞれの特徴がよく表れるので、スピーカーに合わせて真空管を換えてみるのも楽しい悩み。また、別筐体の電源「ブラックボックス」の追加で、更なるアップグレードも可能。保護回路機能も万全で安定安全を誇る当機であれば、今まで敬遠していた方もこの奥深い世界へ安心して飛び込むことが出来るのです。真空管の魅力とトランジスタの魅力の両方を合わせ持ち、それでいてどちらにも属さない。クラシック、JAZZ、ロック、ポピュラー、演歌。何においても今まで体験したことのない驚きを伴って、音楽にのめりこませてくれる。あらゆる面において他の追随を許さず、期待を大きく上回り、プリメインアンプの概念を根底から覆してしまいました。今絶対に聴くべきアンプ、それがこのOCTAVE「V80」です。



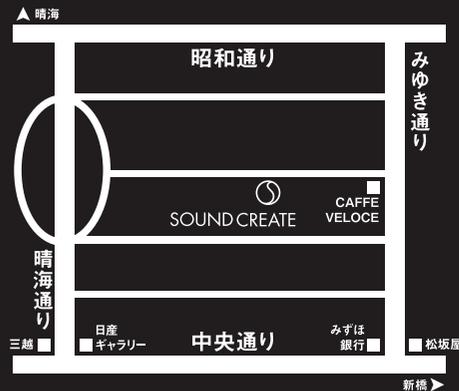
OCTAVE V80 ¥1,344,000  
上位機種MRE130をステレオ化しプリ機能を付け加え造られた、プリメインアンプの枠を超えたアンプ。プリ・パワー独立使用可。



## F-Board

当店ではお馴染みになりつつある、このスピーカーボード。薄さとナチュラルな竹素材が外観を損ねない上に、高域の粒立ちと低域の解像度においては確実な効果をもたらします。スピーカーの真の力を発揮してくれる欠かせないアイテムといっても過言ではないでしょう。

W390×D490×H60 (mm) ¥90,300/ペア  
W485×D580×H60 (mm) ¥109,200/ペア



## LINN DS 138台突破!!

店頭で全機種ご試聴可能。  
ご自宅でのデモンストレーション、設置のご相談、  
周辺アクセサリなど、お気軽にご相談ください。

### 【取り扱いブランド】

OCTAVE/VERITY AUDIO/LINN/PIEGA/B&W/SonusFaber/JBL/ELAC  
Anthony Gallo/HARBETH/DAVONE/TRIGON/NuForce/QUADRASPIRE...ETC



〒104-0061東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル7F  
☎ 0120-62-8166 URL: www.soundcreate.co.jp  
🕒 12:00~19:00 毎週火曜日/第2月曜日(ex.祝日)  
地下鉄銀座駅A3出口より徒歩3分

# SOUND CREATEの旬

## 2009.春

毎年新たな製品が山ほど登場。これだけ沢山の製品があるのですから、既にリリースされた中にもふと見落としていた素晴らしい製品があるかもしれません。今月は新旧問わず最も注目している製品をご紹介します。

## Verity Audio

あるときは身を任せられる心地よさを感じ、またあるときは息を呑む緊張感を与えてくれる。だからこそ、鳴らし方をもっと追求したいと探究心に火がつく。そんなスピーカーとの出逢いでした。

当店では、エントリーモデルTAMINOからフラッグシップであるLohengrinまで試聴ができます。Verity Audioは一見どこでもありそうなエンクロージャーに見えますが、よく見ると前後左右、全てのボディーラインが異なり、その計算しつくされたシルエットからは素晴らしく独特な気品のある音色が奏でられるのです。

中でも最大の特徴は、一部のモデルを除き中高域部と低域部のキャビネットがセパレート構造であるというところ。その分かれていた低域部は、向きを前、後ろ両方で接続できるのです。2007年に発売された「RIENZI」(写真下)にもその構造が採用されています。



Verity Audio TAMINO ¥840,000/ペア  
89cmという背丈からは想像も出来ない臨場感と美音を奏でる。



Verity Audio RIENZI ¥1,470,000/ペア  
同価格帯のスピーカーと比べても、完成度の高さに驚く逸品。

当店では最初、低域部を後ろ向きにセッティングしてみました。極めて自然な音色が、全帯域の一体感を損なわずして量感豊かに広がり、フランク・シナトラの「FLY ME TO THE MOON」ではシナトラとバックバンド、カウント・ベイシー・オーケストラとの絶妙な掛け合いが見事に再現されました。

次は低域部を前向きにしたところ、キレやグリップ感が明らかに増し、迫力のある明瞭な音場に。冒頭部の歌い出しではシナトラが1歩前に足を踏み出し、バックバンドの1つ1つの楽器がより際立って、豪華でダイナミックなステージへと変貌するのです。

同じスピーカーでこれだけ違うサウンドステージが表現できるので、ご自宅でも2通り、いやセッティングによっては何通りもの鳴らし方ができるでしょう。部屋の環境や合わせるシステムによって変わるのももちろんのこと、それは聴くジャンルによって変わるかもしれませんが、その時の自分の情感によって変わるかもしれません。なんとも取り組みがいのあるスピーカーなのです。カナダのケベック州で作られる、若干10年という若いブランドですが、今春サウンドクリエイターで一番熱いスピーカーです。